月一だより

中央区立　月島第一小学校
令和３年１１月 NO.４６４

実りの秋

校　長　　荒川　比呂美

日本列島の北から紅葉前線が南下し、秋の深まりを感じます。今年ももう霜月となり、残すところ２ヶ月です。

１０月２３日の運動発表会は、秋晴れの下で実施することができました。学年ごと、参観者数に制限を設けましたが、御来校いただいた皆様には、子供たちを温かく見守り、たくさんの拍手をお送りいただきました。ありがとうございました。また、ＰＴＡ本部役員の皆様には、運動発表会ライブ中継の試みを、広報委員会の皆様には、広報誌「つきいち」作成に向けた写真撮影等で大変お世話になりました。皆様の御協力、御支援により開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

いよいよ１１月、秋本番です。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋等、何かにじっくり取り組んだり向き合ったりするには、もってこいの季節となりました。植物の中には、秋に実を結ぶ草木も多く、実りの秋とも言われます。春に新芽が出てから光や水といった自然の恵みを受けて生長し、花を咲かせ実を付けます。時には、嵐に吹かれたり雨に降られたりすることもありますが、それぞれに違った実を結ぶ様子が子供たちの成長と重なって見えます。

子供たちは、授業や行事など学校生活の中で様々なことを経験しています。その日の１つ１つの活動や日々の学習は、小さな一歩の繰り返しで、単調に見えたり、変化が分かりづらかったりするかもしれませんが、そこには必ず何かしらの学びや成長があります。毎日の小さな一歩（成就感や達成感、満足感）が積み重なって、大きな進歩（自信）につながるのだと思います。

人はどうしても結果を求め、結果の善し悪しで一喜一憂しがちですが、忘れてならないのは、それまでの過程、プロセスにも目を向けることです。学校では、子供たちの日々のがんばりを見守り、それぞれの場面で見せる輝きや確かな成長をしっかり感じ取る「実りの秋」にしたいです。

１１月の生活目標	仕事は協力してやりましょう。

展覧会にむけて

図工担当

来月、１２月３，４，６日、月一小の展覧会が開催されます。今回の展覧会のテーマは、「自分らしくかがやけ！宇宙のような想像力！！」です。このテーマは、各学級で話し合い、代表委員会で決定しました。全校児童の作品が並びます。図工は、平面作品、立体作品の各１点ずつ、更に５．６年生は家庭科作品が展示されます。また、学年ごとの共同作品もあり、見所満載です。月一小が月一美術館に生まれ変わります。

子供たちの作品は、それぞれに輝きがあり宇宙に勝るほどの壮大な世界観を感じます。常日頃の保護者の方々の御家庭での御支援、御協力に感謝いたします。

今回の展覧会鑑賞にあたり、コロナ感染症防止のために、展覧会来校チケットを配布し、そちらにお名前と体温をご記入し、来校時に提出して頂くこととなります。また、時間を決め、来校者をクラスごとに分散させての御鑑賞となります。詳しくは後日、改めてお知らせいたします。

鑑賞にあたりまして、お手数をおかけいたしますが、皆様方の来校をお待ちしております。展覧会で、児童のみずみずしい感性をお届けできましたら幸いです。

セカンドスクールについて

４年担任

４年生は１１月１１日（木）に日帰りで柏学園へ校外学習に行きます。本来ならば、２泊３日の予定でしたが、コロナ禍のため、日帰りとなってしまいました。子供たちは、セカンドスクールをとても楽しみにしていたようで、日帰りになってしまったことを残念そうにしていました・・・。

柏学園は、千葉県柏市にある中央区の施設で、広い敷地に体育館、園庭、教材園など様々な施設があります。また、雑木林や池など自然もたくさんある場所です。本来ならば、みんなで飯盒炊飯をしたり、星の観察をしたりする予定でした。しかし、今年度は、日帰りということで、講師を招いて、レクリエーション遊びをしたり、柏学園の近くにあるサイクリングコースでサイクリングをしたりすることを計画しています。みんなで行うレクリエーションで仲間との絆を深めたり、サイクリングでは、普段あまり感じることができない自然をたくさん肌で感じたりして、楽しい思い出を作ってほしいです。全員で、安全に気をつけて行ってきたいと思っています。